



高等教育研究開発推進センター主催
「3つのポリシー」第1回勉強会

2018.12.26

「3つのポリシー」の見直しの進め方

高等教育研究開発推進センター

松下 佳代

matsushita.kayo.7r@kyoto-u.ac.jp

今回の見直し

● 現状

- 3ポリシーについては、既にほとんどの部局で策定・公表済み
- しかし、2016年度の見直しは、学部が主
- 大学院はAP(アドミッション・ポリシー)のみの見直しがほとんど

● 見直しの必要性

- 大学院を中心に(ただし、学部もチェックが必要)
- チェックリストをツールとして見直しを行う

勉強会とコンサルテーション

● スケジュール

- 12月26日 第1回勉強会
- 1月中旬 第2回勉強会(+相談会)
- 1月21日 チェックリストの提出
- 2月4日 各ポリシー等の修正案と修正後のチェックリストの提出
(教育制度委員会で確認)
- 5月1日 修正後の3ポリシー公開



個別コンサルテーション

CONTENTS

- 3ポリシーとは ~あらためて、3ポリシーの定義を確認~
- 本学の評価スケジュール ~どのようなスケジュールで動いているのか?~
- 見直しのポイント ~見直しの際に何がポイントになるか?~
- 参考事例 ~学内で参考になる3ポリシーは?
- フォーマット例 ~例えば、こんな書き方~
- 勉強会とコンサルテーション ~困ったときはどうする?~

3ポリシーとは (中教審「ガイドライン」2016.3より)

- **ディプロマ・ポリシー** (卒業認定・学位授与の方針)
 - 各大学, 学部・学科等の教育理念に基づき, **どのような力**を身に付けた者に卒業を認定し, 学位を授与するのかを定める基本的な方針であり, 学生の**学修成果の目標**ともなるもの。
- **カリキュラム・ポリシー** (教育課程編成・実施の方針)
 - ディプロマ・ポリシーの達成のために, どのような**教育課程**を編成し, どのような**教育内容・方法**を実施し, 学修成果をどのように**評価**するのかを定める基本的な方針。
- **アドミッション・ポリシー** (入学者受入れの方針)
 - 各大学, 学部・学科等の教育理念, ディプロマ・ポリシー, カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ, どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり, 受け入れる学生に求める学習成果 (**「学力の3要素」※**について**どのような成果を求めるか**)を示すもの。

※(1)知識・技能, (2)思考力・判断力・表現力等の能力, (3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (「学校教育法」第30条2、高大接続答申)

● 3ポリシーとPDCAサイクル

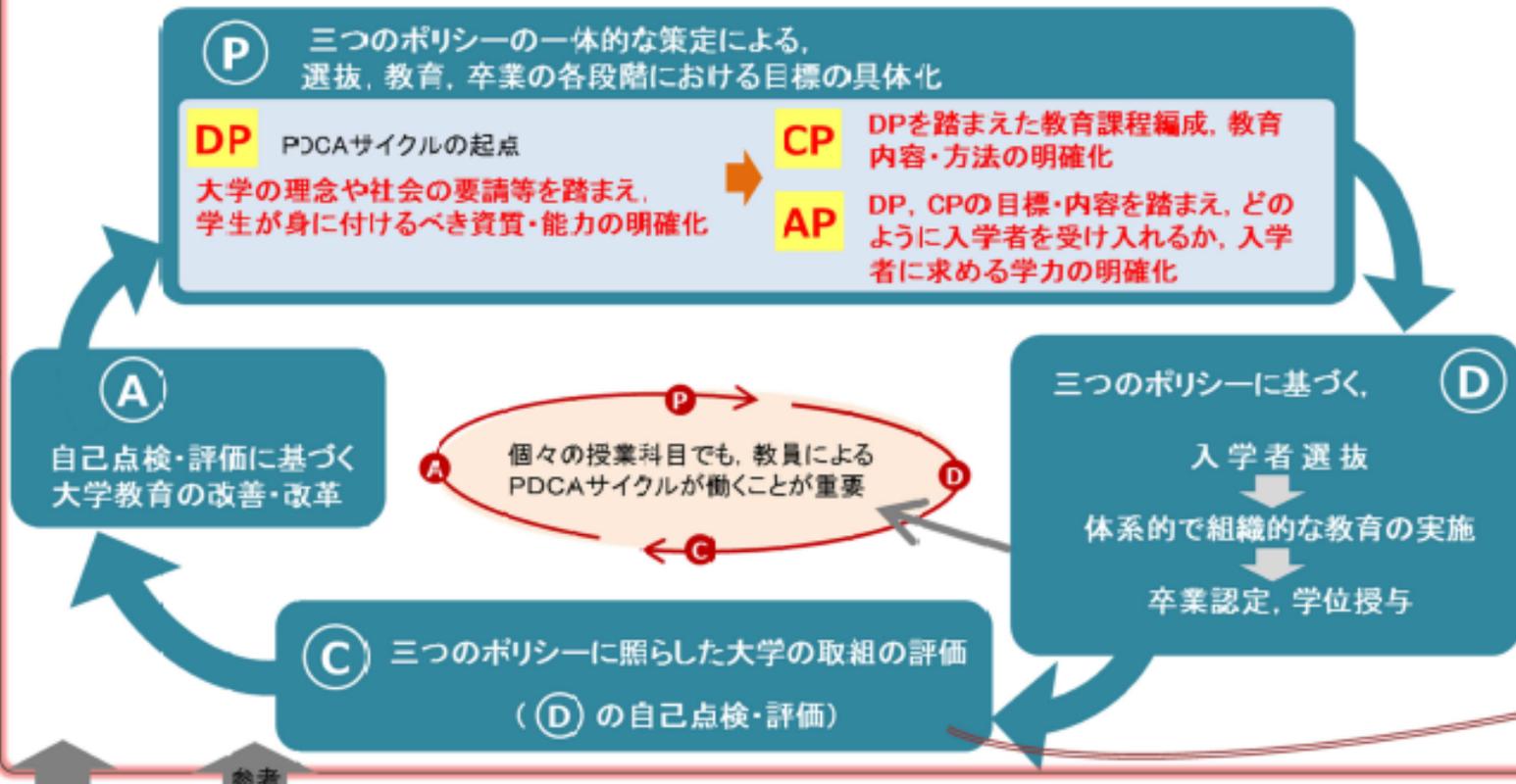
「三つのポリシー」に基づく大学教育改革の実現(イメージ)(案)

三つのポリシー … ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)

〈三つのポリシーの策定単位レベルの内部質保証のためのPDCAサイクル〉

ポリシーの策定単位ごとの
 教学マネジメントを担う者が主体となり実施

情報の積極的な発信



認証評価

内部質保証を重視した評価への発展・移行

参考

三つのポリシーの策定及び運用に関するガイドライン (中央教育審議会大学分科会大学教育部会)

参考

省令改正 ① 全ての大学における三つのポリシーの策定・公表 省令改正 ② 三つのポリシーに基づく大学教育に対する認証評価項目の追加 (学校教育法施行規則) (学校教育法第百十条第二項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令)

本学の評価スケジュール

第3期中期目標期間における評価スケジュール (H27. 11. 17 大学評価委員会 了承)

提出 (公表) 時期	法人評価 (中期目標・中期計画の達成状況に係る評価) ※関係法令: 国立大学法人法第31条の2		自己点検・評価 (大学が定める時期・項目) 教育研究 ※関係法令: 学校教育法第109条第1項	大学機関別認証評価 教育 ※関係法令: 学校教育法第109条第2項
	業務運営	教育研究		
H28年度				
H29年度	[H29.6] H28年度業務実績報告書	(【提出不要】H28年度実績報告書) ...	(H28年度実績報告書)	<p>認証評価及び第3期中期目標期間評価に係る現況調査書の「教育」と同一の観点で作成</p> <p>※部署における自己点検・評価は、【H29年度中】に実施</p>
H30年度	[H30.6] H29年度業務実績報告書	(【提出不要】H29年度実績報告書) ...	(H29年度実績報告書)	
H31年度	[H31.6] H30年度業務実績報告書	(【提出不要】H30年度実績報告書) ...	(H30年度実績報告書)	
H31年度			(H31年度中) 自己点検・評価報告書 (教育)	
H31年度			(H31年度中) 自己点検・評価報告書 (研究)	<p>機関別認証評価の受審</p> <p>【H31.6】自己評価書</p>
H32年度	[H32.6] 平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間(平成28~31事業年度)に係る業務の実績に関する報告書	[H32.6] 達成状況報告書 (平成28~31年度分)	[H32.6] 学部・研究科等の現況調査表 (教育・研究) (平成28~31年度分)	<p>第3期中期目標期間評価に係る現況調査書の「研究」と同一の観点で作成</p> <p>※部署における自己点検・評価は、【H30年度中】に実施</p> <p>なお、部署の状況により、【H29~30年度中】に外部評価を受けて実施</p>
H33年度	[H33.6] H32年度業務実績報告書	(【提出不要】H32年度実績報告書) ...	(H32年度実績報告書)	
H34年度	[H34.6] 平成33事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書	[H34.6] 達成状況報告書 (平成32・33年度反映分)	[H34.6] 学部・研究科等の現況調査表 (平成32・33年度反映分)	

第3期中期目標期間

文科省国立大学法人評価委員会へ提出
結果確定後大学HP掲載

大学改革支援・学位授与機構へ提出
結果確定後大学HP掲載

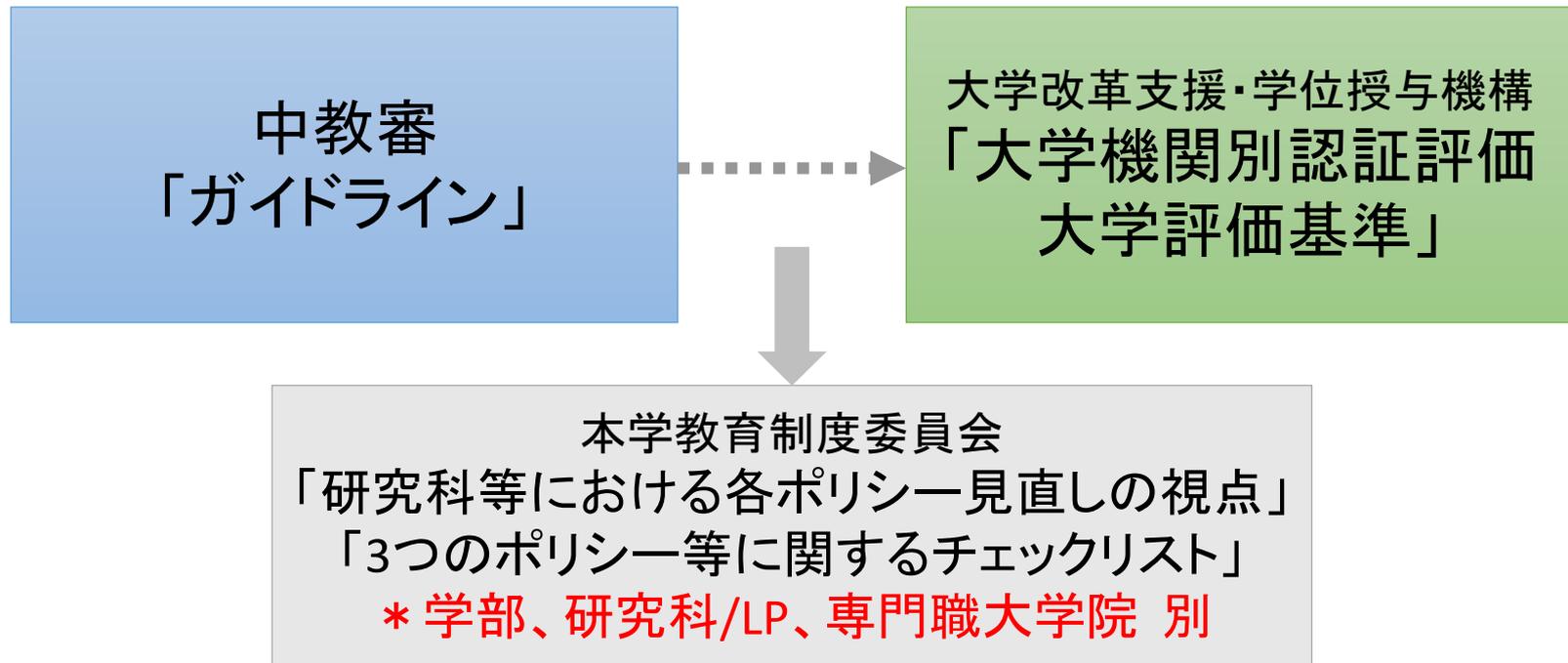
大学HP掲載

大学改革支援・学位授与機構へ提出
結果確定後大学HP掲載

● 基礎知識

- 各部局での自己点検・評価にもとづいて、2つの外部評価（「国立大学法人評価」と「大学機関別認証評価」）を受審する。
- 法人評価は6年ごと、認証評価は7年以内ごとに受審することが義務づけられているが、本学では、総長の任期にあわせて、両方とも6年ごとに受審している。
- **法人評価**は2020年度（4年目終了時）・2022年度（第3期中期目標期間終了時）、**認証評価**は2019年度に受審する。
- 現在の3ポリシーの見直しは、**2019年度の認証評価の受審にあわせたもの**。

● 3ポリシーの策定で準拠すべき資料



- 「見直しの視点」をふまえつつ、「チェックリスト」のクリアをベースラインとしてください。
- わかりにくい場合は、大学改革支援・学位授与機構 の資料や「ガイドライン」も参照してください(☞参考資料リスト)

見直しのポイント ①ディプロマ・ポリシー

□大学機関別認証評価 分析項目6-1-1

- 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること
- * 「具体的かつ明確」であることの判断指針としては、
 - 学生が教育課程の終了時点で獲得することが期待される能力の具体的内容とその程度を示していること。
 - その際、学生の進路先等社会における顕在・潜在ニーズに配慮していることがわかるように定められていること。
 - また、学生の学習の目標となり、教育課程の編成・実施方針の策定を制約する内容となっていること。

■教育制度委員会 各ポリシー見直しの視点(別紙2)

ディプロマ・ポリシーを「学生の学修成果の目標」と捉え、教育に関するPDCAサイクル(教育に関する内部質保証)の起点としての機能を発揮するよう配慮の上、以下の3点を中心に検証・見直しを行う。

- (1)「何ができるようになるか」に力点を置き、どのような学修成果を上げれば卒業を認定し、学位を授与するのかが具体的に示されていること。
- (2)社会における顕在・潜在ニーズに係る記述が含まれていること
- (3)学生の学修の目標となっていること

-
- DP =学修成果の目標(学生が卒業(修了)段階で身につけておくべき資質・能力)／卒業認定・学位授与の基準
 - 「資質・能力」の中身
 - 大学の目的(学部:基本理念・CP、大学院:DP) との整合性
cf. 学部: DPの「チェックリスト」①～⑥
 - その他、「総合的判断力の基礎となる知力」／「社会の変化に際しても自主的、積極的に対応できる能力」「自学自習の姿勢」など(京都大学CP)
 - 各分野に固有の資質・能力
cf. 日本学術会議参照基準
 - 卒業認定の基準・方法
 - 修得すべき単位 ×「単位の取得」
 - 取得できる「学位」の種類 cf. 京都大学学位規程
 - 卒業論文・卒業研究の有無など
 - 社会からの期待(進路先等社会におけるニーズ)

【参考】資質・能力について

● 学士力 (中教審, 2008)

知識・理解

- ・多文化・異文化に関する知識の理解
- ・人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

知識

汎用的技能

- ・コミュニケーション・スキル
- ・数量的スキル
- ・情報リテラシー
- ・論理的思考力
- ・問題解決力

スキル

態度・志向性

- ・自己管理能力
- ・チームワーク
- ・リーダーシップ
- ・倫理観
- ・市民としての社会的責任
- ・生涯学習力

態度

統合的な学習経験と創造的思考力

● 日本学術会議

「各分野の教育課程編成上の参照基準」

- 2018年12月現在、31分野の参照基準が公表済み

経営学、言語・文学、法学、家政学、機械工学、数理科学、生物学、土木工学・建築学、経済学、地域研究、歴史学、材料工学、政治学、地理学、文化人類学、社会学、心理学、地球惑星科学、社会福祉学、電気電子工学、情報学、哲学、統計学、農学、物理学・天文学、計算力学、薬学、サービス学、歯学、看護学、医学

見直しのポイント ②カリキュラム・ポリシー

□大学機関別認証評価 分析項目6-2-1

- 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること
 - 教育課程方針において、分析項目本文の①から③の各項目に係る記述が含まれていることを確認
 - 特に、「学習成果の評価の方針」については、機構による2巡目の評価では、それを学位授与の方針との関係で分析する観点を設けていたところから、その点についても留意
 - 教育課程の編成及び実施の内容が、学位授与方針に定める獲得が期待される能力を学生が獲得できるものとなっているかを確認できるだけの整合性を有していることを確認する。

□大学機関別認証評価 分析項目6-2-2

- 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること
 - 教育課程の編成及び実施の内容が、学位授与方針に定める獲得が期待される能力を学生が獲得できるものとなっているかを確認できるだけの整合性を有していることを確認する。
 - 信頼できる第三者の評価を受けている場合は、当該第三者評価における該当する事項及びその評価結果を確認する。

□大学機関別認証評価 分析項目6-3-1

- 教育課程の編成が、体系性を有していること
 - * 教育課程の**体系性のエビデンス**になる資料
 - カリキュラム・マップ
 - コース・ツリー
 - 履修モデル
 - コース・ナンバリング

■教育制度委員会 各ポリシー見直しの視点(別紙2)

ディプロマ・ポリシーを踏まえて、専門分野における研究能力や高度な専門業務に従事するための能力、その基盤となる学識、及び高い倫理性を身に付けることを重視するとともに、体系的な教育課程の構築の観点から、以下の3点を中心に検証・見直しを行う。

- (1) **教育課程の編成**の方針が明確かつ具体的に明示されているか。
- (2) 教育課程における**教育・学修方法**に関する方針が明確かつ具体的に明示されているか
- (3) **学修成果の評価**の方針が明確かつ具体的に明示されているか

見直しのポイント ③アドミッション・ポリシー

□大学機関別認証評価 分析項目5-1-1

- 「求める学生像」については、**入学前**に学習しておくことが期待される内容
- 「入学者選抜の基本方針」については、入学者受入方針を具現化するためにどのような**評価方法**を**多角的**に活用し、それぞれの評価方法をどの程度の**比重**で扱うのか
- 特に学士課程については、受け入れる学生に求める学習成果（「**学力の3要素**（(1)知識・技能、(2)思考力・判断力・表現力等の能力、(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」についてどのような成果を求めるか）

■各ポリシー見直しの視点（別紙2）

知識水準及び専攻分野への関心、意欲、態度といった面から、以下の3点を中心に検証・見直しを行う。

- (1) **入学前**に学習しておくことが期待される内容が明示されているか。
- (2) どのような**評価方法**を**多角的**に活用し、それぞれの評価方法をどの程度の**比重**で扱うのかが明示されているか。
- (3) **入学後**にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているのか

* APは入試委員会・入試企画課の所掌ですが、大学院のAPについて、評価方法（選抜方法）などが記載されていない場合は、自主的に加筆してもらってかまいません。

見直しのポイント ④大学の目的との関係、 3ポリシー間の関係

□大学機関別認証評価 分析項目2-2-1

- それぞれの教育課程について、以下の事項を機関別内部質保証体制が確認する手順を有していること
 - (1) 学位授与方針が**大学等の目的**に則して定められていること
 - (2) 教育課程方針が大学等の目的及び学位授与方針と整合性をもって定められていること
 - (3) 学習成果の達成が授与する学位に相応しい水準になっていること

■教育制度委員会 3つのポリシー等に関するチェックリスト(別紙1)

○大学の目的等と3ポリシーの整合性

- 学部: 京都大学の基本理念、CP(学士課程)
- 大学院博士(後期)課程、修士課程: 京都大学のDP(大学院課程、専門職大学院課程)

見直しのポイント ⑤ 3ポリシーの策定単位

■各ポリシー見直しの視点(別紙2)

- ・授与する**学位プログラム**(学位の種類ごとの入学から卒業までの課程)の単位を基本とする。
- ・ただし、求める能力やそのための教育課程の編成方針が詳細において異なる場合など、**専攻等**に区別した方が有効である場合は、当該単位とすることができる。この場合、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーについては区別した単位ごとに策定する。
- ・策定された各ポリシーについては、横並びに整理した上で、全学として一定の統一性の観点から必要な調整を行う。

● 京都大学の授与する学位 cf. 京都大学学位規程

- * 3ポリシーをCPまたはAPの策定単位ごとにチェックリストにそって点検してください(各学科共通の記載があり、共通部分でのみチェック項目に対応できている場合は、DPの策定単位でも可)。
- * 大学院の3ポリシーの策定単位については、2016年度の3ポリシーの見直し、2015年度のカリキュラムの可視化の際と同様としますが、質問・変更希望などがある場合には、教務企画課に問い合わせてください。

参考事例

● 学部・大学院

- 「チェックリストに係る主な記載例」(資料4-3)を参照
- 3ポリシーの全体については、大学院では、教育学研究科、エネルギー科学研究科、法科大学院などが参考になる

👉 別紙：参考事例(大学院)

フォーマット例

進路先等社会のニーズが書かれていない部局が多いです

● ディプロマ・ポリシー

- 本学○○学部[研究科]は、…といった人材[研究者、社会人、市民]を育成することが社会から期待されている。
- そうした人材を育成するために、本学部では、所定の課程を修め、必要な単位を修得し、(かつ研究指導を受けた上で、)○○論文の審査及び試験に合格し、次のような目標を達成した者に、○○の学位を授与する。
(1)……

カリキュラムの具体はコースツリー等を見ればわかりますが、その背後にある考え方を説明します(例えば、レイト・スペシャリゼーションなど)

● カリキュラム・ポリシー

- 本学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、全学共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育課程については、コースツリーやナンバリングを用いてその体系性や構造を明示する。

● カリキュラム・ポリシー（続き）

- 教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように方針を定める。

1. 教育内容

(1) ……

- * ●●科目群では、～の内容を学ぶ、など

2. 教育方法

(1) ……

- * フィールドワークを重視している、など

■教育課程の全体だけでなく、「教育内容・方法」「評価」についても言及が必要です（DPの繰り返しにならないように）

■コースツリーやカリキュラムマップなどに具体化していることにも触れてください

3. 学修成果の評価

(1) ……

- * 各科目の評価基準・方法はシラバスに示す、卒業研究の評価は●●によって行う、卒業時に質問紙調査を行っている、など

DP・CPとの関連性も重要ですが、APは受験生への直接のメッセージとなるので、独立でも読みごたえのある内容に

● アドミッション・ポリシー

- 本学部は、……という歴史をもち、……を教育理念に掲げている。そのような教育理念の下、本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す教育を行っている。こうした教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた学生を求める。

(1) ……

- また、そのために、入学者選抜においては、以下のような評価方法を用いる。

(1) ……

APがどう評価方法(選抜方法)に具体化されているかを書いてください(大学院ではここが抜けている部局が多いです)

勉強会とコンサルテーション

● スケジュール

- 12月26日 第1回勉強会
- 1月中旬 第2回勉強会(+相談会)
- 1月21日 チェックリストの提出
- 2月4日 各ポリシー等の修正案と修正後のチェックリストの提出
(教育制度委員会で確認)
- 5月1日 修正後の3ポリシー公開

個別コンサルテーション



● コンサルテーション

- 困ったとき、作業にいきづまったときは、
高等教育研究開発推進センターにご相談ください。

【担当】松下(matsushita.kayo.7r@Kyoto-u.ac.jp)



参考資料

【3ポリシー】

- 中央教育審議会大学分科会大学教育部会 (2016). 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー), 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー) 及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー) の策定及び運用に関するガイドライン」.
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/__icsFiles/afieldfile/2016/04/01/1369248_01_1.pdf
- 大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価 大学評価基準」
https://www.niad.ac.jp/media/006/201806/no6_1_1_daigakukijun31.pdf
- 大学改革支援・学位授与機構 大学機関別認証評価等研修会
 - 「基準ごとの分析を行う際の手順等について」
https://www.niad.ac.jp/media/006/201806/no6_1_1_30daigakukensyuu5bunsekitejun.pdf
 - 「3つのポリシーの策定について」
https://www.niad.ac.jp/media/006/201806/no6_1_1_30daigakukensyuu6_3policy.pdf

【資質・能力】

- 中央教育審議会 (2008). 「学士課程教育の構築に向けて(答申)」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm
- 日本学術会議「各分野の教育課程編成上の参照基準」
<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/daigakuhosyo/daigakuhosyo.html>

【学内】

- 京都大学の基本理念

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/history/ideals/basic/>

- 京都大学の3ポリシー

- 大学全体 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/gakubu.html>

- 学部 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/education>

- 大学院 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/graduate/daigakuin.html>

- 京都大学学位規程

http://www.Kyoto-u.ac.jp/uni_int/kitei/reiki_honbun/w002RG00000103.html